



# やまな

周南たちばな学園

袋井市立山名小学校

学校だより No.18

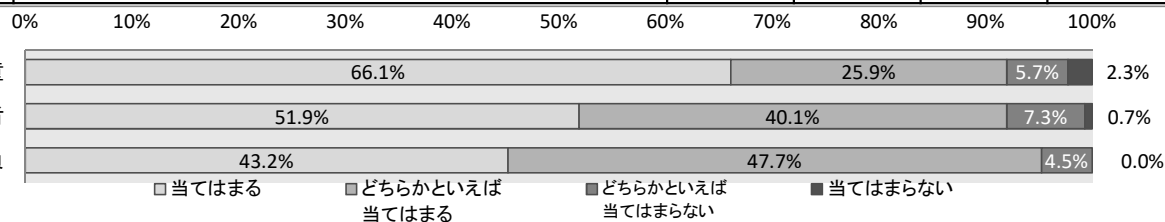
令和4年2月25日発行

山名小学校の教育活動に関する調査(11月末実施)のまとめ(概要版)

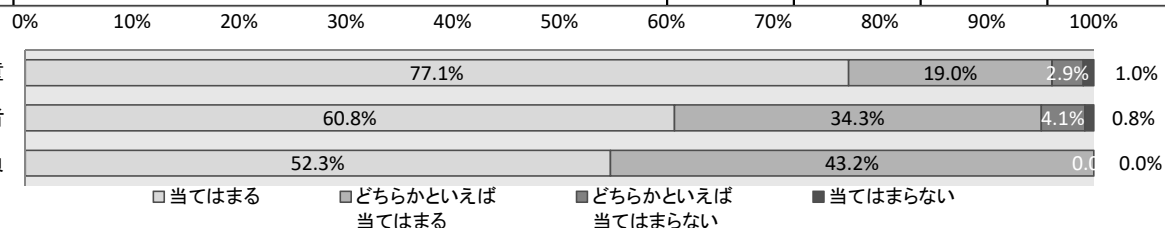
11月に実施した本年度2回目の山名小の教育活動に関する調査の結果がまとまりましたので、御報告いたします。調査への御協力、またたくさんの御意見をいただき、誠にありがとうございました。

## ○三者(児童・保護者・教職員)共通の質問事項の結果一覧

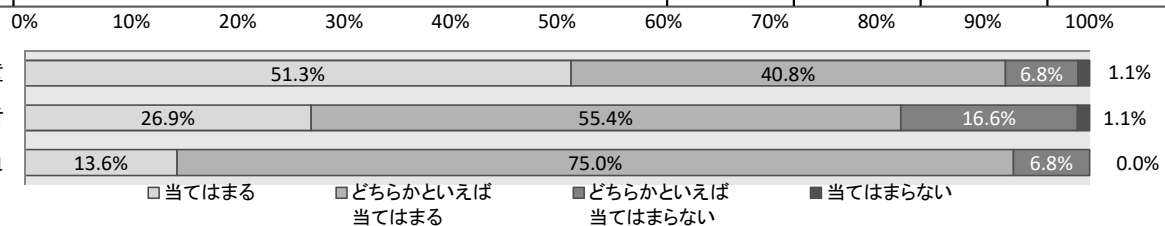
質問1		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	学校(がっこう)が楽(たの)しい	66.1%	25.9%	5.7%	2.3%
保護者	子どもは、学校が楽しいと感じています。	51.9%	40.1%	7.3%	0.7%
教職員	子どもたちは、学校が楽しいと感じていると思う。	43.2%	47.7%	4.5%	0.0%



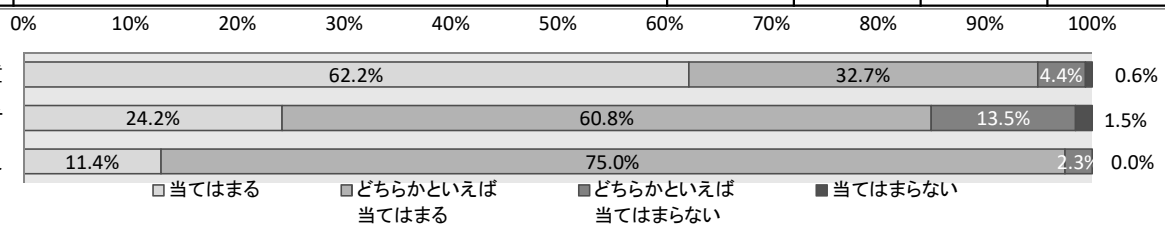
質問2		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	みんなで何(なに)かをするのは楽(たの)しい	77.1%	19.0%	2.9%	1.0%
保護者	子どもは、みんなで何かするのは楽しいと思っています。(行事、グループ活動、チームでのゲームなど)	60.8%	34.3%	4.1%	0.8%
教職員	子どもたちは、みんなで何かするのは楽しいと思っている。	52.3%	43.2%	0.0%	0.0%

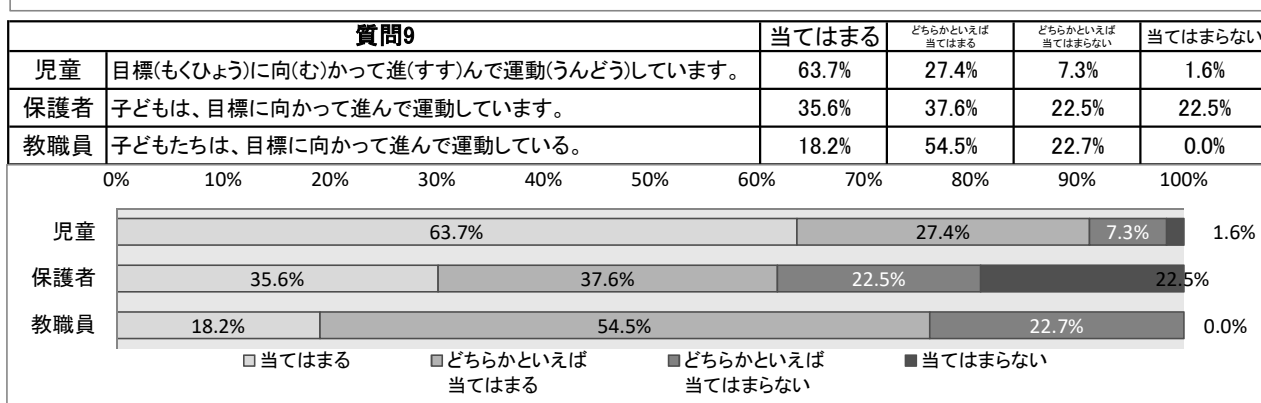
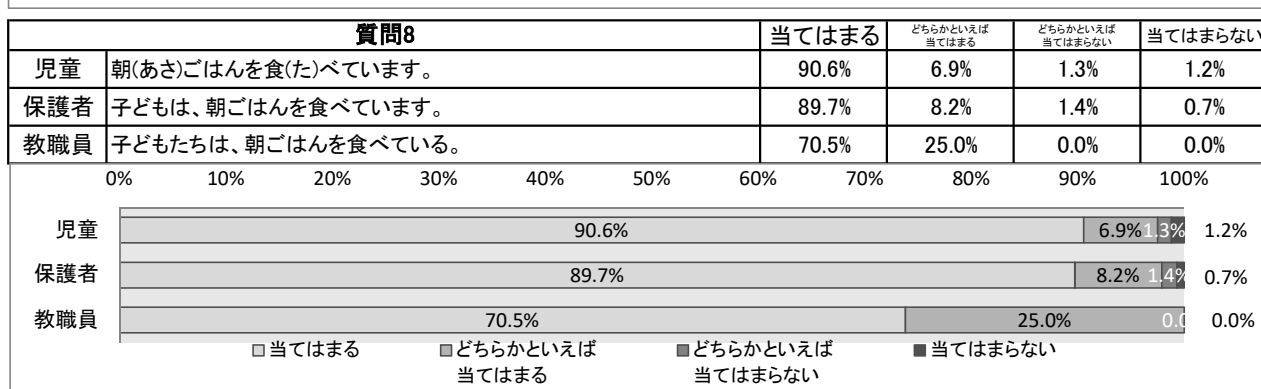
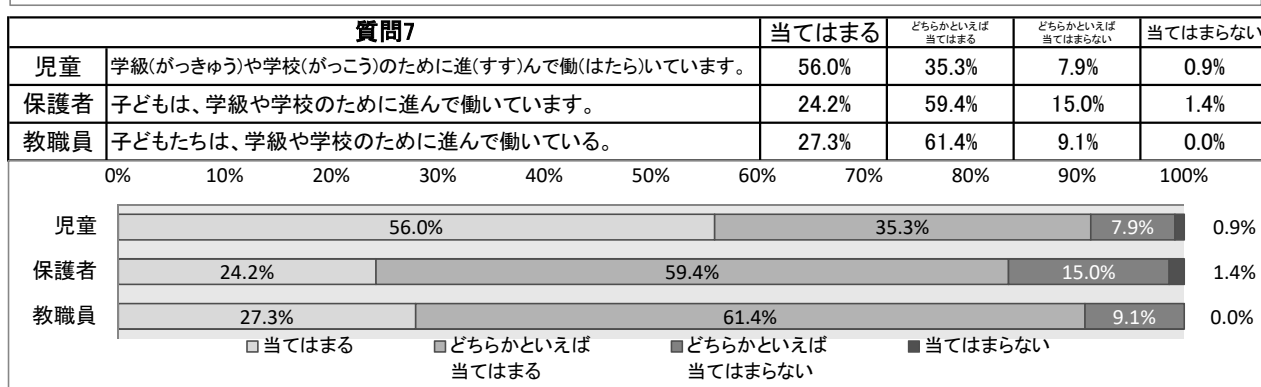
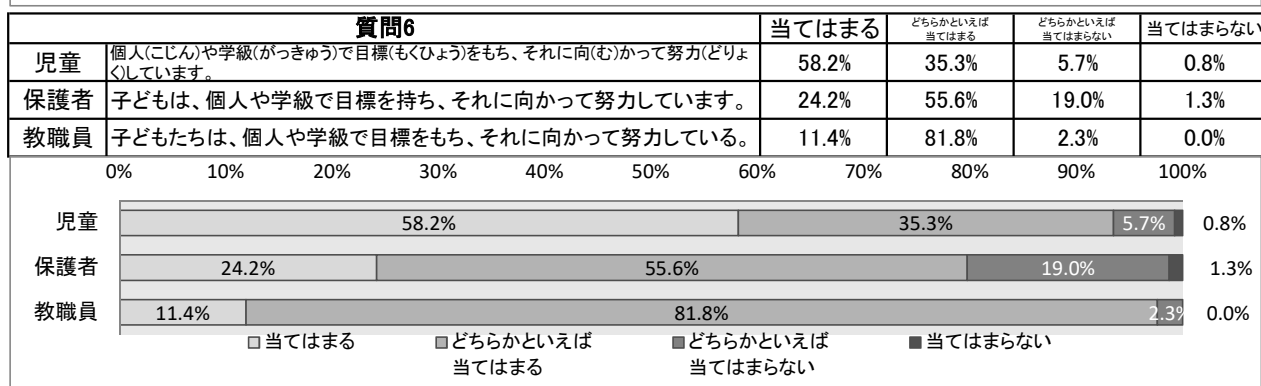
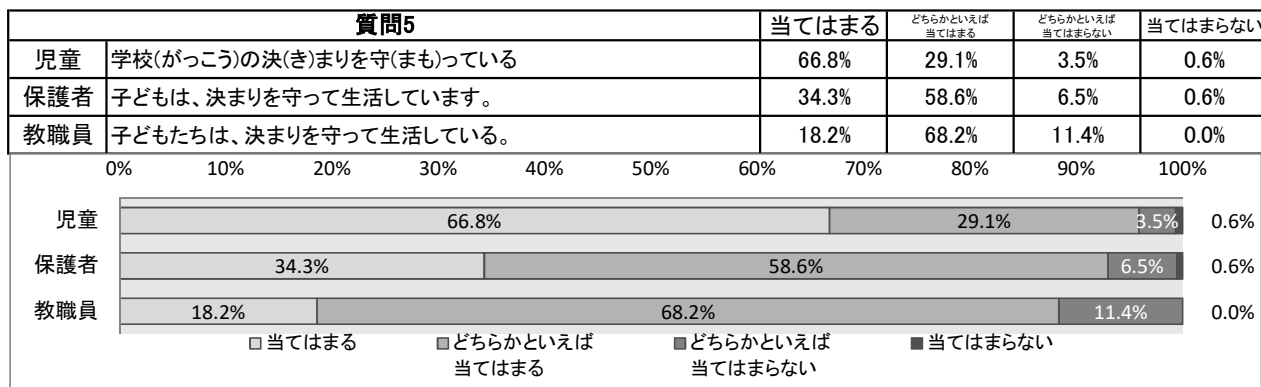


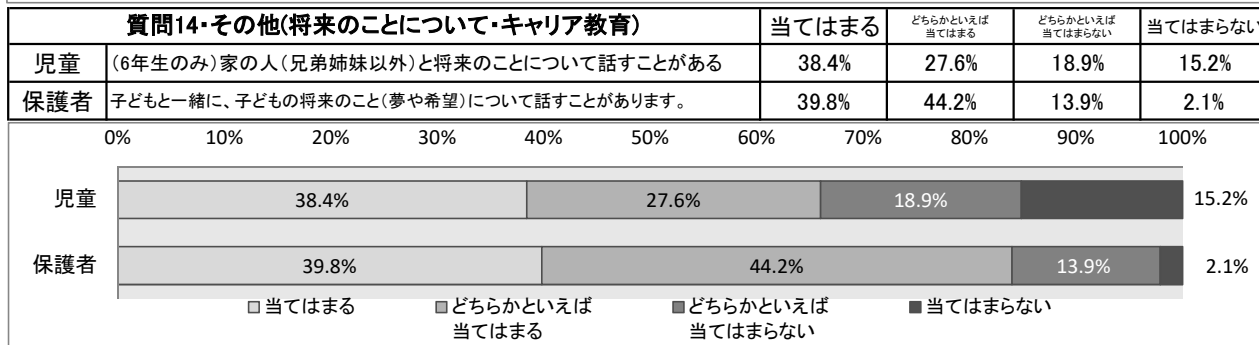
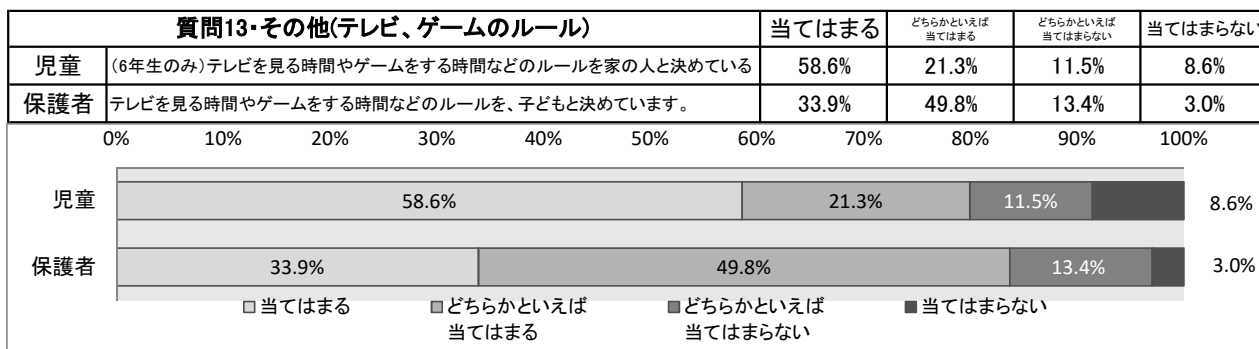
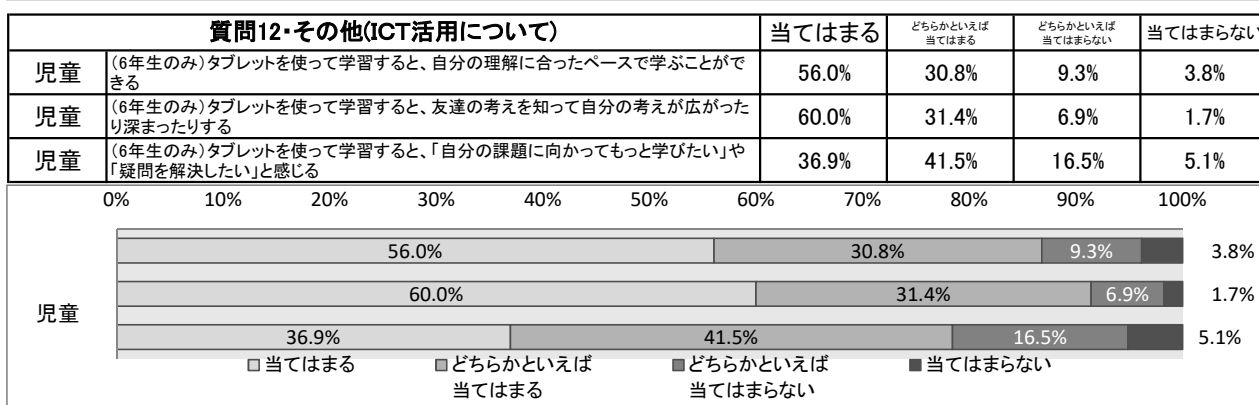
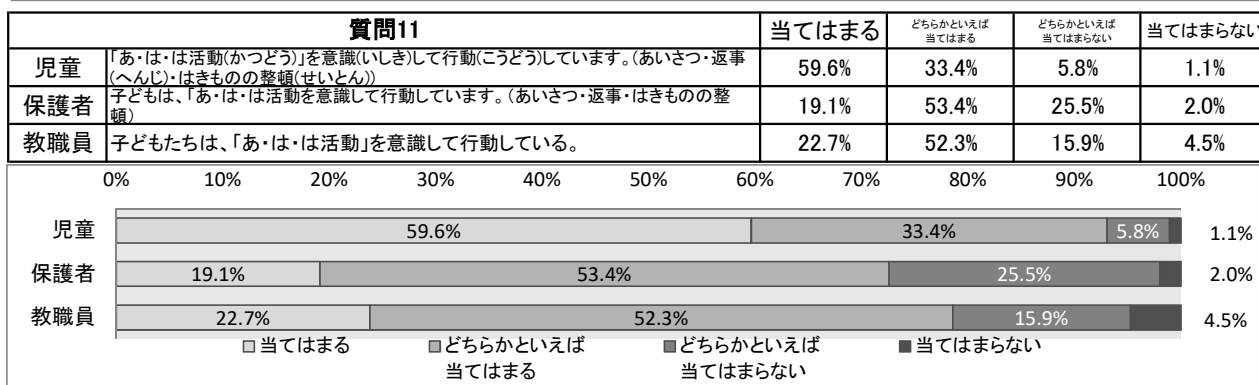
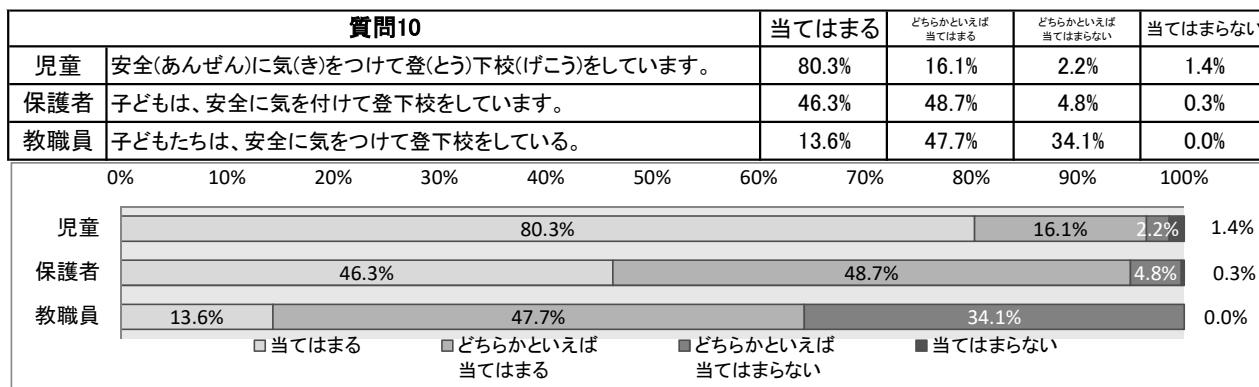
質問3		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	授業(じゅぎょう)に主体的(しゅたいてき)に取(と)り組(く)んでいる	51.3%	40.8%	6.8%	1.1%
保護者	子どもは、授業に主体的(しゅたいてき)に(自分から進んで)取り組んでいます。(聴く、話す、考えるなど)	26.9%	55.4%	16.6%	1.1%
教職員	子どもたちは、授業に主体的(しゅたいてき)に取り組んでいる。	13.6%	75.0%	6.8%	0.0%



質問4		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	授業(じゅぎょう)がよく分(わ)かる	62.2%	32.7%	4.4%	0.6%
保護者	子どもは、授業がよくわかっています。(分かった・なるほど・できるようになった などと感じる)	24.2%	60.8%	13.5%	1.5%
教職員	子どもたちは、授業がよく分かっている。	11.4%	75.0%	2.3%	0.0%







## ○アンケートの結果についての考察

袋井市の教育が目指す子ども像「夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す15歳」の評価指標を含め、4択の「当てはまる」の数値に着目して評価を行いました。

質問1～4については、周南たちばな学園として、「授業に主体的に取り組む」児童の姿を大切にしながら、全ての教員が授業改善を進め、様々な教育活動を見直すことが、「授業がよく分かる」、「みんなで何かするのは楽しい」と感じる児童の姿につながると考えます。そして、それらの項目が密接にかかわり合うことで、児童にとって「学校が楽しい」ものになると考えます。

そこで、授業や行事に取り組む中で、互いの思いや考えを伝え、尊重し合う場や機会を大切にしてきました。仲間や大人とのかかわりを大切に、各学年で発達段階にあわせた様々な取組を進めることで、児童は充実感や満足感、自己肯定感を得る姿が見られました。こうした積み重ねから、全ての児童に「自分には良いところがある、必要とされている」という自己有用感(自分に対する自信)を育んでいきたいと思いません。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、学習面でもこれまで同様、授業や山名っ子ノート(家庭学習)の充実、そしてICTの活用を念頭に、取り組みを推進していきます。

質問6、7、11については、本校で大切にしている「あ・は・は」活動などについてです。必要だと感じた上で話す・聴く場合に相手意識をもち、対話を繰り返すことで、自分の考えを深めたり、よりよい考えを創り出したりする場面を大切にしたいと考えます。互いを尊重し、助け合いながら違いを認め合ったりよさに気付き合ったりすることは、これからの社会を生きていく上で大切なことです。そのためには、よりよい集団づくりや集団生活の基礎を築くために、思いや考えを表現し、共有しながら、集団の中で高め合うことが必要です。そこで、学級の雰囲気高められるような声掛けや取組を推進します。そして、「あ・は・は」活動を当たり前のように実践する児童の姿を認めたり広げたりしながら、必要に応じて指導を行い、児童へのさらなる定着につなげていきます。

質問5、8、10については、児童の健康や安全についてです。けがや事故のない落ち着いた学校生活は、学力の向上や心の成長につながります。今後も、室内での過ごし方はもちろん、登下校などについてもけがや事故のない学校を目指します。

## ○保護者自由記述欄の御意見について

貴重な御意見をいただき、誠にありがとうございました。いただいた御意見を参考に、今後の教育活動のさらなる改善につなげてまいります。また、学校や担任の取組について御理解や御指摘をいただきました。保護者の皆様から温かい御支援の言葉をかけていただいたことに感謝申し上げますとともに、ICT活用や清掃など、今後の学校生活の改善へとつなげてまいります。

## ○今後の取組について ～ 御家庭でも御協力ください。

- > 「自己有用感」をもつ子を育てる。
  - ・友達や自分のよさや頑張りを互いに認める場(授業や学級内の活動での振り返りなど)をつくる。
- > 「あ・は・は活動」の推進を継続する。
  - ・委員会や係の活動でも取り組み、あいさつや返事、はきものの意識を高める。
  - ・「先取りあいさつ」や「はきものの整頓」、「はいの返事」ができている児童をほめて認めることで、自己有用感(自分に対する自信)を育てる。
- > 児童が主体になって活動に取り組む。
  - ・清掃の進め方を確認し、自分で考え、異学年の仲間と協力しながら黙働清掃をする習慣を身に付ける。
  - ・新型コロナウイルス感染症対策を講じて、委員会活動や縦割り活動、学年集会など、児童が主体的に計画を立てて取り組むことができるような場や機会を大切にします。
- > 主体的に学習に取り組む態度を養う。
  - ・自分が学習したことを振り返り、タブレットや山名っ子ノートを活用し、その日、その時間に自分が学んだことや気づいたこと、疑問、感想などを書いたりまとめたりすることで、学んだことを自覚できるようにする。
- > 学校生活における安全指導・歩行指導を継続する。
  - ・「雨の日の昼休みは読書などをして静かに過ごす。」「教室移動をする際には、学級毎で整列して移動する。」などを守り、安全、安心な生活を心がける。
- > 学校生活における新しい生活様式を引き続き意識し、新型コロナウイルス感染症対策を継続する。

今回も本内容について、学校ホームページ(<https://yamana-e.fukuroi.ed.jp>)の「トピックス」に、グラフ付きのアンケート結果や保護者の皆さんの御意見、学校の回答を掲載する予定です。ご覧ください。